



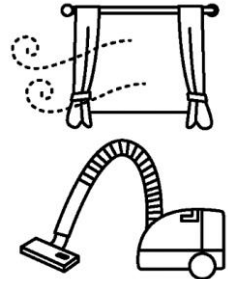
『秋のダニ対策・念入り！！』

つるべ落としの日暮れ、秋の気配が深まってきましたね。

実はこの時期、夏に大量繁殖したダニの死骸が一斉に増えるため、喘息やアトピー性皮膚炎といったアレルギー症状が、とても悪化しやすいのをご存知でしょうか？

このダニという生き物、どんなに駆除しても0にすることは出来ないといい、布団の天日干しや、枕カバー等寝具の洗濯後でも、元気に生きているというから驚きです。

死滅させるには洗濯乾燥機や布団乾燥機で高温処理するしか手立てが無いと言われています。



ダニは高温多湿を好み(室温 20~30℃、湿度 60~80%)梅雨期から夏にかけて最も繁殖。寿命は3~4ヶ月なので、ちょうど今頃、今度は大量の死骸となって室内や身の回りに留まることになるのです。

残されたフンと死骸は、次第に細かく粉碎され家の埃にくっつきハウスダストとして鼻や目、皮膚から取り込まれて、色々なアレルギー症状を引き起こすということです。

☆ 厄介な置きみやげを少しでも減らす効果的な掃除方法

- ・カーペットは1㎡当たり20秒を目安に、縦・横両方向に掃除機をゆっくり動かす。
- ・フローリング床は、排気で埃を舞い上げないように、先にモップや床拭きシートで拭いてから掃除機を掛ける。窓を開けて換気を充分に。(一度舞い上がった埃は数時間浮遊し続けるそうです！)
- ・布団乾燥機で退治した後も、布団の頭が当たる部分や縫い目を重点的に掃除機掛けを忘れずに！